

2023年12月25日

第121回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査(2024年1~6月期 B. S. I.)

製造業、非製造業とも改善基調を維持
～コスト高や人手不足が懸念材料となり、改善幅は縮小～

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、11月中旬に実施した「静岡県内企業経営者の景気見通し調査」の結果をとりまとめましたので、ご案内します。

景気見通し

- 2024年上期（1～6月）のB. S. I.（業界景気見通し指数）は、「上昇」（22%）が「下降」（20%）を+2ポイント上回り、2期連続の改善（景況感の改善を示す結果）となった。
- 社会経済活動の回復に伴い売上高の増加が見込まれるが、原燃料価格の高止まりに加え、人材確保に向けた人件費の増加を懸念し、業界景気はわずかな改善にとどまった。
- 企業規模別にみると、大企業では「上昇」（24%）が「下降」（16%）を+8ポイント、中小企業では「上昇」（22%）が「下降」（21%）を+1ポイント上回り、それぞれ2期連続でプラスになった。
- 業種別にみると、製造業は「上昇」（25%）が「下降」（22%）を+3ポイント、非製造業は「上昇」（19%）が「下降」（18%）を+1ポイント上回り、ともに2期連続で景気の改善を見込んだ。
- 2024年下期の見通しについては、製造業が+11、非製造業が+16と、ともに景気の改善を見込んでいる。

※本件のお問い合わせ先 担当（溝口 歩嘉）

〈1月の記者発表予告〉下記の調査について記者発表を予定しています

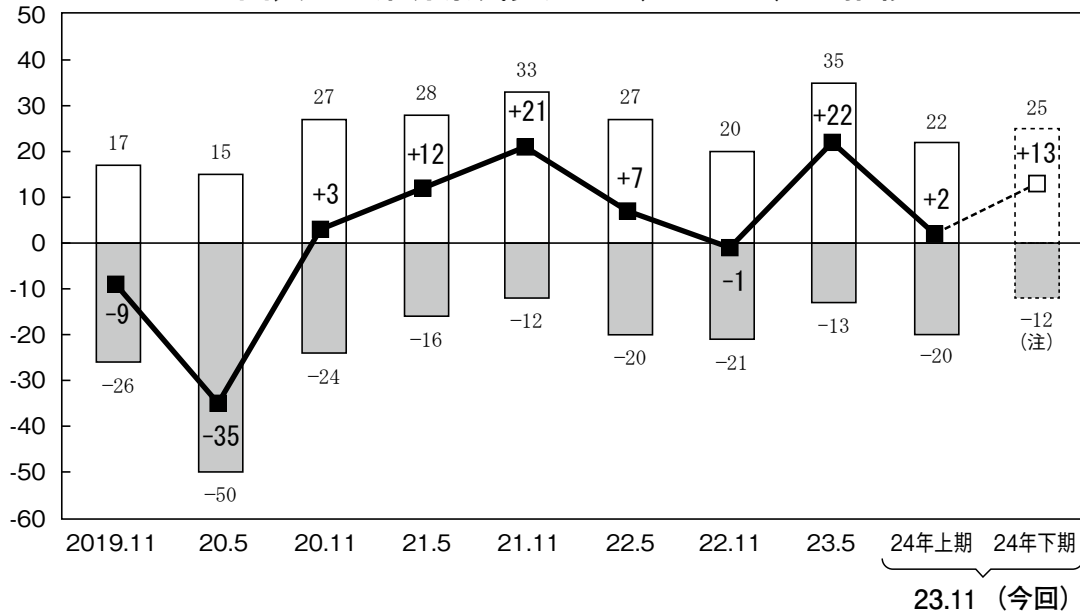
「2024年1～3月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査」

今月の定例調査

第121回 静岡県内企業経営者の景気見通し調査 (2024年1～6月期 B.S.I.)

製造業、非製造業とも改善基調を維持 ～コスト高や人手不足が懸念材料となり、改善幅は縮小～

図表1 業界景気見通し (B.S.I.) の推移



□ 上昇 (%)、■ 下降 (%) ■ B.S.I. (「上昇」と「下降」の差を指数化したもの)

(注) 2024年下期は2024年上期と比べた業績見通し

景気見通し (概況)

□ B.S.I. は2期連続の改善、24年下期も改善が続く見通し

2024年上期 (1～6月) の B.S.I. (※) による業界景気見通しは、「上昇」(22%) が「下降」(20%) を +2 ポイント上回り、2期連続の改善となった (図表1)。社会経済活動の回復に伴い売上高の増加が見込まれるが、原燃料価格の高止まりに加え、人材確保に向けた人件費の増加を懸念し、業界景気はわずかな改善にとどまった。

企業規模別にみると、大企業では「上昇」(24%) が「下降」(16%) を +8 ポイント、中小企業では「上昇」(22%) が「下降」(21%) を +1 ポイント上回り、それぞれ2期連続でプラスになった (次頁図表2)。

2024年下期 (7～12月) は、「上昇」(25%) が「下降」(12%) を +13 ポイント上回る結果となった。企業規模別でみると、大企業で +13 ポイント、中小企業で +14 ポイントと、ともに上期を上回るプラス幅となっており、改善が続く見通し (次頁図表2)。コスト高による利益圧迫や人材難の長期化が予想されるが、経済活動の正常化の進展で今後も需要増が期待され、企業経営者の景況感は改善する見込み。

(※) B.S.I. (Business Survey Index) とは、「上昇」と「下降」の差を指数化したもの。次頁の「調査の要領」を参照。

業種別見通し

□製造業、非製造業ともに改善見通しだが、改善幅は縮小

2024年上期の業種ごとの業界景気見通しを前回調査と比べると、製造業（+18→+3）は△15ポイント、非製造業（+26→+1）は△25ポイントと、ともに改善を見込むが、改善幅は縮小した（図表3）。

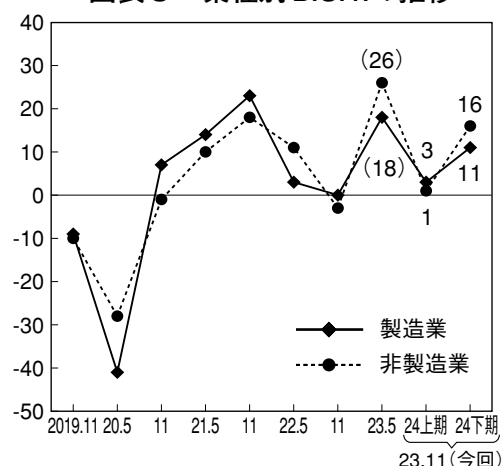
業種を詳細にみると、全18業種のうち、「上昇」が8業種、「横ばい」が4業種、「下降」が6業種となった（7頁付表）。製造業では、「パルプ・紙・紙加工品」（+46→△13）、「輸送用機械器具」（+15→△22）などで悪化に転じたが、「金属製品」（+40→+60）、「一般機械器具」（+23→+27）などは改善を見込む。非製造業では、「建設業」（+4→+3）、「運輸・倉庫業」（+80→+10）などで改善が続いたが、「卸売業」（+31→±0）、「サービス業その他」（+24→±0）などで横ばいとなったほか、「小売業」（+11→△8）などで悪化に転じた。

なお、2024年下期の見通しについては、製造業が+11、非製造業が+16と、ともに景気の改善を見込んでいる。

図表2 業種別・規模別B.S.I. (単位：%)

項目 業種別・ 規模別	回答 企業 数	業界景気							
		2024年1～6月				2024年7～12月			
		上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.	上 昇	横 ばい	下 降	B. S. I.
全企業	268	22	58	20	2	25	63	12	13
大企業	26	24	60	16	8	21	71	8	13
中小企業	242	22	57	21	1	26	62	12	14
製造業	134	25	53	22	3	25	61	14	11
大企業	9	38	37	25	13	25	62	13	12
中小企業	125	25	53	22	3	25	61	14	11
非製造業	134	19	63	18	1	26	64	10	16
大企業	17	18	70	12	6	19	75	6	13
中小企業	117	19	62	19	0	27	62	11	16

図表3 業種別B.S.I.の推移



注1) 本調査における中小企業とは、資本金3億円以下または従業員300人以下の企業（ただし卸売業では同1億円以下または同100人以下、小売業では同5,000万円以下または同50人以下、サービス業では同5,000万円以下または同100人以下）であり、それ以外を大企業とした。
注2) 「2024年1～6月」は「2023年7～12月」と、「2024年7～12月」は「2024年1～6月」と比較した見通しである。

調査の要領

- 調査目的：この調査は、当研究所が1963年より毎年2回実施しているもので、静岡県内企業経営者の自社の業績見通しをもとに、業界景気を調査することを目的にしている。
- 調査対象：静岡県内に本社をおく主要企業。
- 調査方法：各企業に対するアンケート調査。
- 調査内容：①2023年下期（7～12月）に比べた2024年上期（1～6月）、および2024年上期に比べた2024年下期の自社の業績見通し
②2023年下期に比べた2024年上期の売上額、経常利益などの項目別見通し
③現在の企業経営上の問題点および今後重視する経営戦略
- 調査時点：2023年11月中旬
- 回答状況：調査対象企業754社のうち、有効回答がよせられた企業は268社で、有効回答率は35.5%である。

(注) B.S.I. (Business Survey Index) とは、企業経営者の見通しを数字であらわしたものの。前期に比べて上昇とみる…x、横ばいとみる…y、下降とみる…z について、 $x+y+z=100$ とした時、 $B.S.I.=2x+y-100=x-z$ と定義。全員が上昇とみれば B.S.I. は +100、全員が下降とみると B.S.I. は △100 になる。上昇と判断する人が多ければ多いほど +100 に近づき、下降とみる人が多ければ多いほど △100 に近づき、上昇と下降が同数（全員が横ばいとみる場合も含む）の場合、B.S.I. は 0 となる。

項目別見通し

□原材料価格や賃金の上昇が利益を圧迫、非製造業では経常利益が悪化

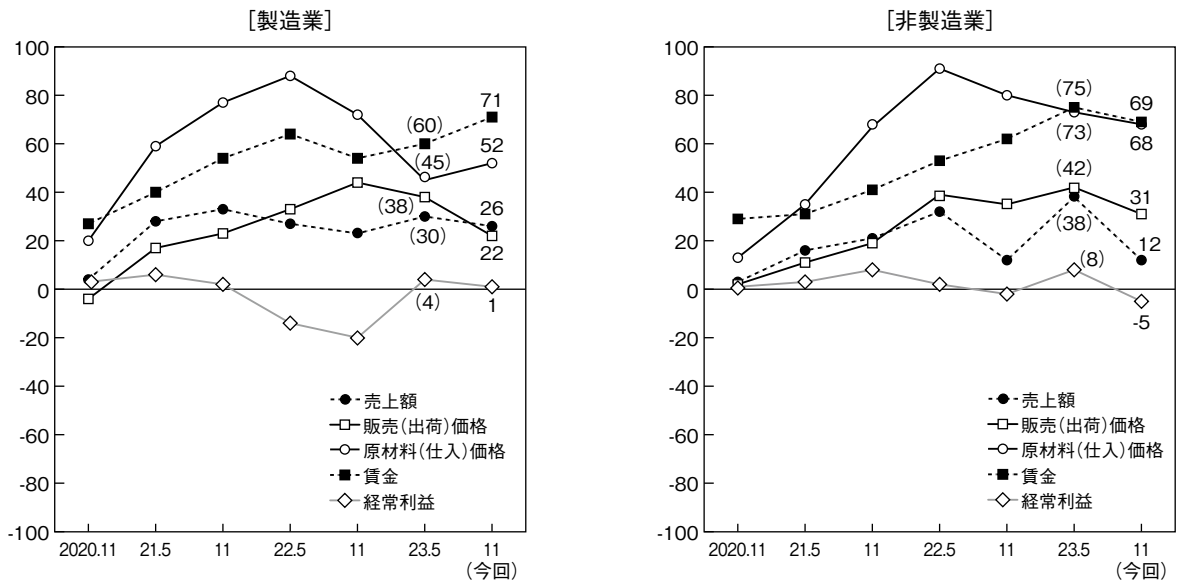
今後の見通しについて項目別に前回調査と比較すると、製造業では、「販売（出荷）価格」（+38→+22）の上昇や「販売数量」（+14→+14）の増加が続き、「売上額」（+30→+26）は引き続き増加が見込まれるが、依然として「原材料（仕入）価格」（+45→+52）や「賃金」（+60→+71）の上昇などコスト高に対する懸念が強く、「経常利益」（+4→+1）はわずかな改善にとどまるとみられる（図表4、5）。

非製造業では、「販売価格」（+42→+31）が上昇するも「販売数量」（+28→+2）は概ね横ばいで推移し、「売上額」（+38→+12）の伸びは鈍化する。一方、損益面では「原材料（仕入）価格」（+73→+68）や「賃金」（+75→+69）の上昇が利益を圧迫し、「経常利益」（+8→△5）は悪化に転じると予想される。

図表4 2024年1～6月の項目別B.S.I.

[製造業]		B.S.I. 項目	[非製造業]		
減少・下降	増加・上昇		減少・下降	増加・上昇	
19	45	26	12	23	35
12	34	22	31	11	42
22	36	14	2	24	26
22	39	17	7	20	27
22	34	12	2	18	20
5	57	52	68	3	71
9	13	4	2	8	10
2	73	71	69	2	71
7	24	17	24	8	32
12	33	21	28	8	36
18	14	△4	2	19	21
32	33	1	△5	30	25

図表5 主要な項目別B.S.I.の推移



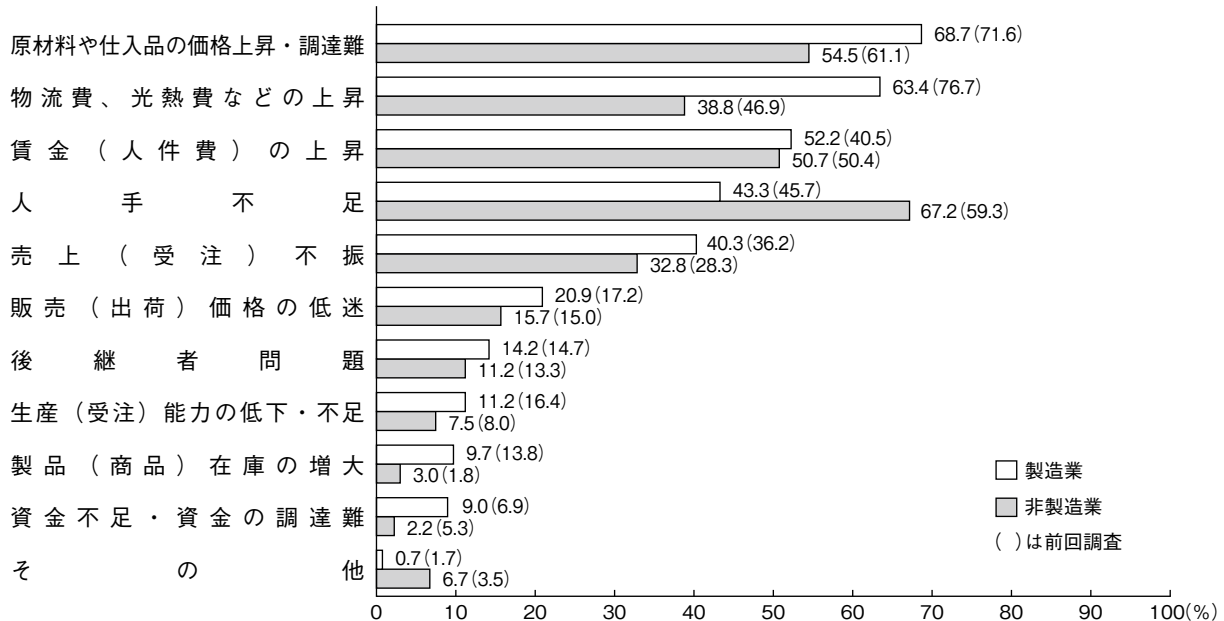
経営上の問題点

□ 製造業では原燃料価格の高止まり、非製造業では人手不足を指摘する企業が多い

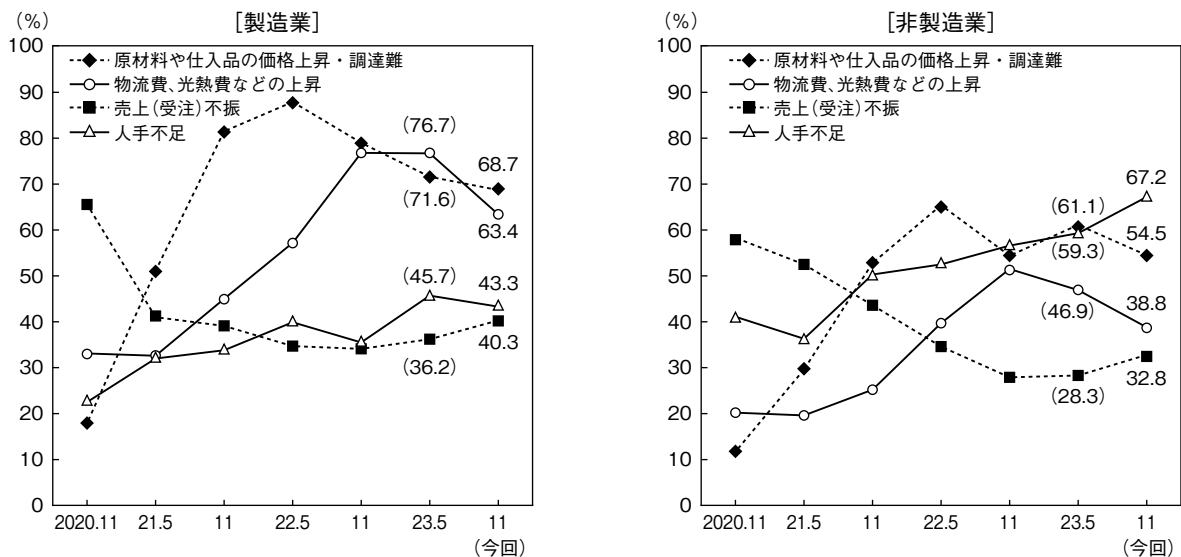
企業経営上の問題点としては、製造業では「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」(68.7%)や「物流費、光熱費などの上昇」(63.4%)の回答が多かった(図表6、7)。加えて、「賃金(人件費)の上昇」(52.2%)が、前回調査から+11.7ポイントと大幅に上昇しており、原材料やエネルギーコスト、人件費などのコスト負担の増加が深刻化している。

非製造業では「人手不足」(67.2%)が最も多く、前回から+7.9ポイント上昇するなど人材難が最大の課題となっている。次いで、「原材料や仕入品の価格上昇・調達難」(54.5%)、「賃金(人件費)の上昇」(50.7%)と、製造業と同様、コストアップを問題視する企業が多かった。

図表6 現在の企業経営上の問題点(複数回答)



図表7 主要な企業経営上の問題点の推移

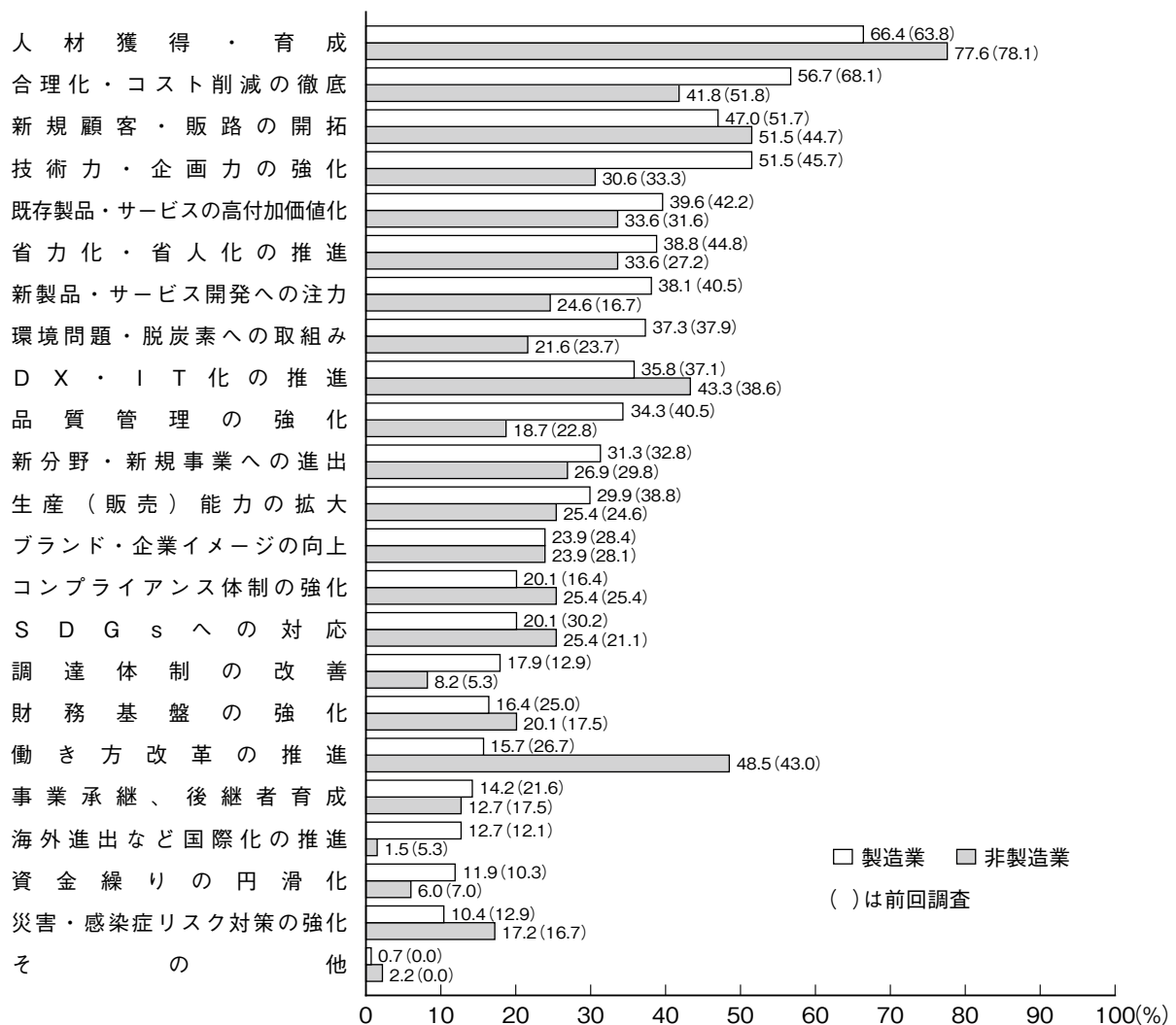


今後重視する経営戦略

□業種を問わず人材獲得・育成を最も重視、経営合理化でコスト高にも対応

今後重視する経営戦略としては、「人材獲得・育成」が製造業66.4%、非製造業77.6%と、ともに最多だった(図表8)。具体的な戦略として「新卒・中途採用の強化で人材確保」、「ベテラン社員による若手の育成で技術力を維持・強化」という意見が聞かれた。製造業では、次いで「合理化・コスト削減の徹底」が56.7%と多く、経営の合理化を通じてコスト高への対応を重視する企業が多い。非製造業では「新規顧客・販路の開拓」(51.5%)や「働き方改革の推進」(48.5%)が増加しており、販路開拓に向けて営業力の強化を目指すとともに、労働環境の整備を通じて人材の定着を図る動きがみられる。

図表8 今後重視する経営戦略(複数回答)



以上、静岡県内企業経営者による2024年上期の景気見通しは、改善基調を維持した。コロナの5類移行による社会経済活動の回復で、多くの企業で増収を見込む一方、原燃料価格の高止まりや人件費の上昇による利益圧迫に加えて人材不足に苦慮する企業が多く、業界景気は若干の上昇が見込まれるも、前回調査に比べて改善幅は縮小した。今後もアフターコロナにおける需要の取込みに向けて、企業体質の改善や競争力の強化が求められる。

(溝口 歩嘉)

付表 2024年1～6月の業界景気、自社の見通し(B.S.I.)

項目(B.S.I.) 区分	(業 前 回 景 気)	(業 今 回 景 気)	売 上 額	価 販 売 額 (出 荷 格)	販 売 数 量	受 注 額	生 産 量	(原 仕 入 材 価 格 料)	在 製 品 庫 (商 品 数)	賃 金	雇 用 者 数	設 備 投 資	借 金 融 機 関 入 関	経 常 利 益
	全企業(268)	22	2	19	27	8	13	7	60	2	70	20	24	△1
製造業(134)	18	3	26	22	14	17	12	52	4	71	17	21	△4	1
食料品(19)	50	6	53	47	24	29	△11	47	△6	65	17	17	△20	23
木材・木製品(9)	△29	△22	0	△11	△11	△11	0	67	△11	78	11	0	△11	△33
パルプ・紙・紙加工品(16)	46	△13	44	38	25	25	13	63	△6	81	25	38	7	△12
化学・ゴム製品(5)	△17	0	20	40	0	0	0	80	0	60	20	20	20	△20
窯業・土石製品(6)	0	17	33	67	0	50	0	100	20	100	17	16	△16	16
鉄鋼・非鉄金属(8)	△15	△25	0	0	0	△13	△13	63	14	75	13	△12	0	△25
金属製品(11)	40	60	30	10	30	20	40	10	△10	50	10	10	0	10
一般機械器具(16)	23	27	40	40	20	46	34	67	7	93	26	47	13	26
電気機械器具(6)	0	33	83	16	67	67	50	16	17	83	50	33	△16	67
輸送用機械器具(22)	15	△22	△23	△9	△18	△23	△13	30	10	59	△9	9	0	△18
その他の製造業(16)	0	6	31	25	31	31	43	56	13	57	31	31	△19	0
非製造業(134)	26	1	12	31	2	7	2	68	2	69	24	28	2	△5
建設業(31)	4	3	23	48	14	17	8	76	9	67	14	14	10	4
卸売業(22)	31	0	13	23	△18	△6	△19	64	4	68	27	25	0	0
小売業(14)	11	△8	△8	22	△15	9	0	73	7	79	8	43	16	0
運輸・倉庫業(21)	80	10	25	65	20	18	40	82	17	58	50	20	△20	10
ガス業(4)	0	0	△75	△75	△50	△33	△33	△25	△25	25	0	25	25	△75
サービス業その他(37)	24	0	14	24	9	3	0	61	△13	78	27	42	0	△17
ホテル・旅館業(5)	50	△20	0	20	0	0	0	100	0	80	0	20	20	0
規模 大企業(26)	42	8	28	34	4	19	17	70	0	46	21	46	17	16
中小企業(242)	20	1	18	26	9	12	7	59	2	73	20	22	△3	△4
地域 東部(72)	31	3	22	20	17	22	17	61	4	75	17	28	5	5
中部(99)	23	7	26	33	9	24	13	66	△1	70	22	26	0	1
西部(97)	13	△3	10	25	1	△6	△3	52	5	66	22	20	△6	△10

※区分の横の()内の数字は回答数